

檜山管内 せたな町立若松小学校

1 学習活動の概要

「ウポポイ」の職員による講話や、アイヌの人たちの文化に関する展示物、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「アイヌ古式舞踊」等の鑑賞を通して、授業で学習したアイヌの人たちの歴史や文化等について理解を深める教育活動を行いました。

2 取組の様子

(1) 事前の学習

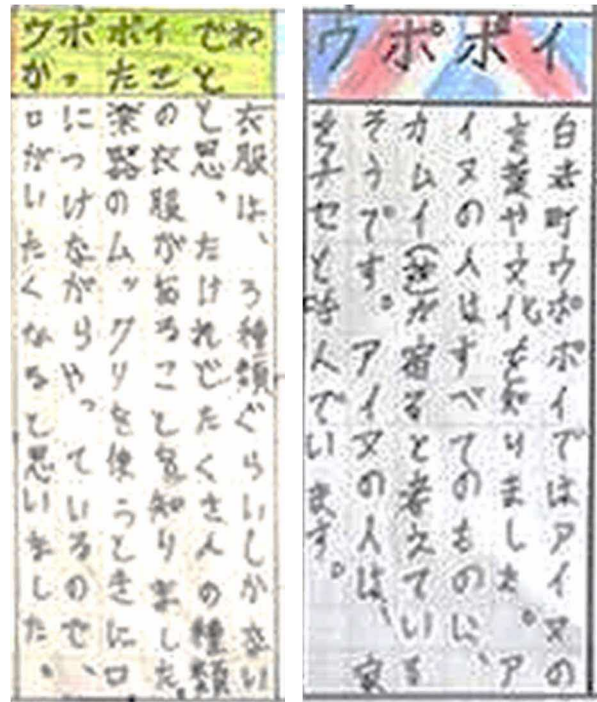
社会科の学習で、アイヌの人たちの交易や歴史、文化等について理解を深めました。また、北海道庁アイヌ政策推進局アイヌ政策課のWebページにある「アイヌ語地名リスト」を活用し、身近なアイヌ語由来の地名について理解を深めました。

(2) 体験活動

「アイヌ古式舞踊」やムックリの演奏を鑑賞するとともに、「ウポポイ」の職員による講話においてアイヌの人たちについての説明を聞いたり、動画を視聴したりすることを通して、アイヌの人たちの歴史や文化等について理解を深めました。また、展示物からアイヌの人たちの昔のくらしや仕事等を知り、アイヌの人たちを身近に感じることで、新たに興味や気付きをもち、自分たちの暮らしと関連付けました。

(3) 事後学習

事前学習や実際の見学によって学んだことや感じたことを模造紙にまとめ、発表しました。また、疑問に思ったことや興味をもったこと等を交流し、新たな疑問や、今後調べてみたいことについて考えるなど、アイヌの人たちの歴史や文化等について理解を深めました。



【振り返りで作成したまとめの抜粋】

3 児童の感想等

- ・「ウポポイ」の職員の方に、アイヌの言葉を教えてもらいました。「こんにちは」と言うときは、「イランカラプテ」と言うようです。アイヌの人たちの言葉を覚えるのは難しかったけれど、楽しかったです。
- ・アイヌの人たちには、アイヌ語の呼び名が付けられることを知って驚きました。
- ・当時、アイヌの人たちが苦しい暮らしをしていたことを知りました。
- ・ムックリを演奏してみたいと思いました。
- ・暖かそうな毛皮やアイヌ文様の服がたくさん展示されていて、当時の人は身近な物を使って生活していたことを知ることができました。